



北海道新幹線が通る場所を示す標識。形が似ていることから、「トンボ」とも呼ばれている

新幹線をつくる

Vol.6

鉄道・運輸機構は、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



新幹線の開業といえば、駅や線路の建設工事に注目が集まりがちですが、新幹線建設事業はさまざまな業務から成り立っています。それは現地調査に始まり、関係機関との協議、用地取得、鉄道構造物の設計・施工、資金調達まで広範囲に及んでいます。中でも、「用地取得」は事業の成否を左右するきわめて重要な業務といえるでしょう。なぜなら、用地を確保できなければ新幹線の建設そのものが不可能となってしまうからです。

用地取得は、鉄道の建設予定地にお住まいの方や土地を



北海道新幹線の80%はトンネルとなっているため、起伏の激しい山間部の測量は苦労が伴う

大切な土地を譲つていただくことになるので、事業の目的や計画、補償内容等をわかりやすく、はつきりとお伝えすることはもちろんのこと、協議、契約締結、登記手続などで構成されています。

また、実際の用地取得にあたっては、お住まいの家が建っている土地や先祖代々受け継がれてきた土地をどうしてもお譲りいただきかなくてはならない場合があります。

多くの人が待ち望む新函館北斗・札幌間の開業は二〇三〇年度末の予定です。新幹線を利用するお客様まだけでなく、用地取得にご協力いただいた方々の思いも乗せて、北海道新幹線が札幌へ向けて走る日々は着実に近づいています。

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設工事においては、地域に精通した札幌市や北海道土地開発公社の協力を得ながら、これらの用地取得業務を進めているところです。

また、実際の用地取得にあたっては、お住まいの家が建っている土地や先祖代々受け継がれてきた土地をどうしてもお譲りいただきかなくてはならない場合があります。

大切な土地を譲つていただくことになるので、事業の目的や計画、補償内容等をわかりやすく、はつきりとお伝えすることはもちろんのこと、それぞれのご事情を十分にうかがいながら、相手の立場で物事を考えて最善を尽くすこと、事業へのご理解とご協力をいただけるよう、職員一人一人がこれまで培ってきた経験を最大限に活かして、業務に励んでいます。

所有している方から土地を譲つていただくための一連の業務であり、地元説明会の開催、現地の測量、建物の調査、用地協議、契約締結、登記手続などで構成されています。

用地取得業務を担当しています



JRTT 北海道新幹線建設局
用地第五課

一ノ瀬 要さん